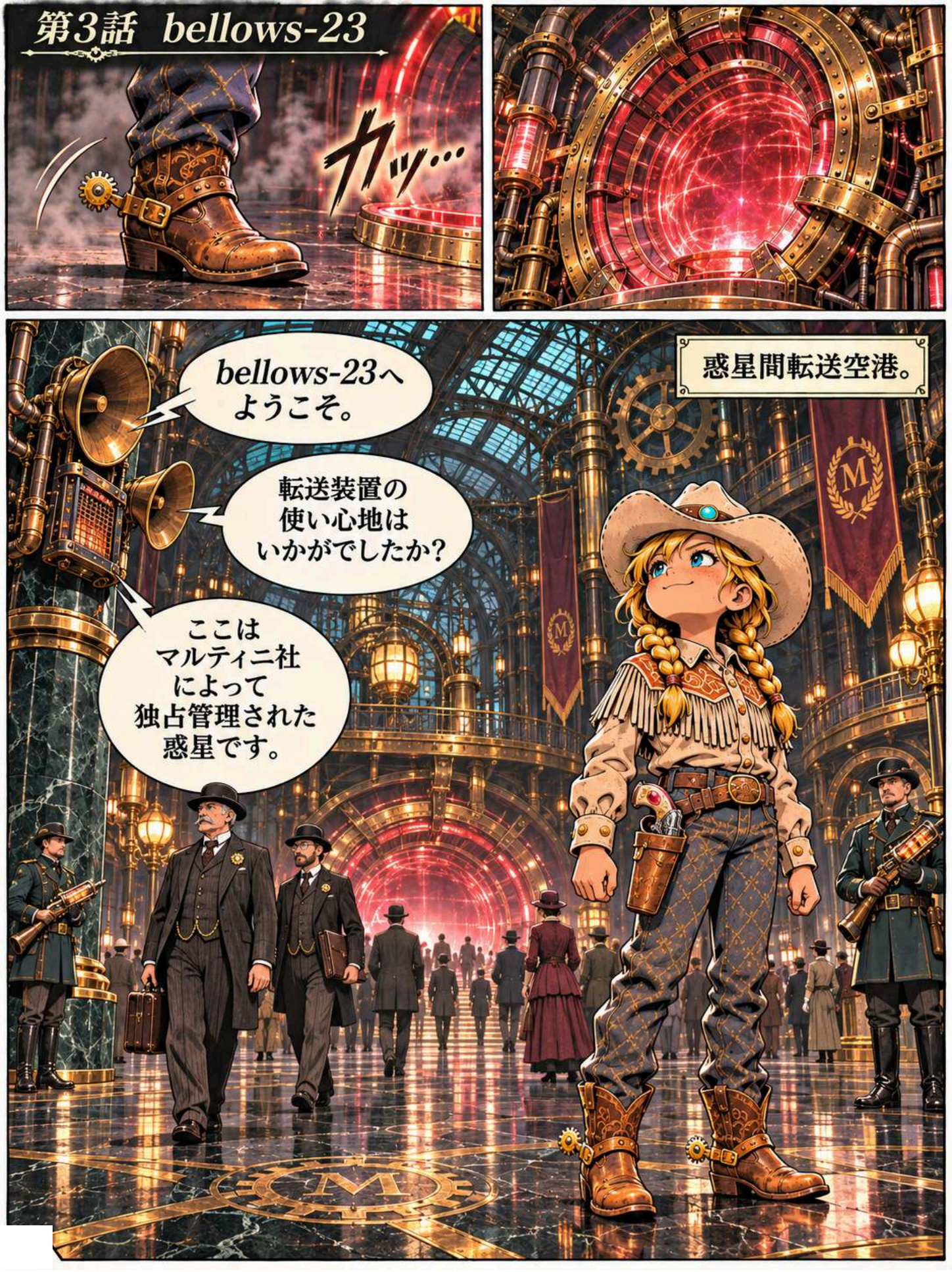

第3話 bellows-23
カッ…
惑星間転送空港。
bellows-23へ
ようこそ。
転送装置の
使い心地は
いかがでしたか?
ここは
マルティニ社
によって
独占管理された
惑星です。

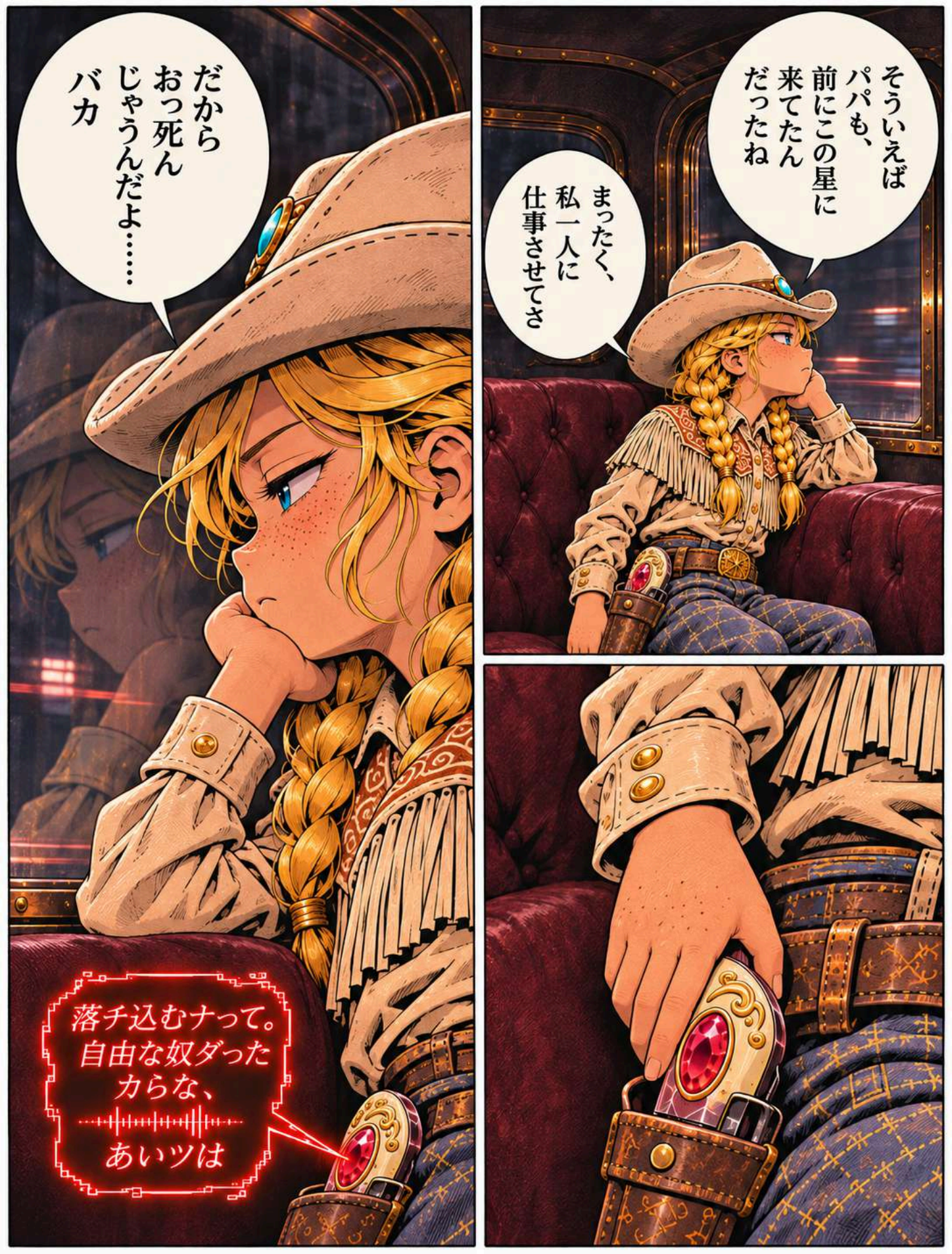

星々を結ぶ転送装置。
その技術と銃器で
名を馳せるマルティニ社。
伝統と格式、精度が自慢。
その銃は整備と
取り回しに難がある。
入境審査
あっちの
レーンは
がらがら
じゃん
ねぇー、
私急いでる
んだけど……
申し訳
ございません。
今しばらく
ご辛抱
ください
あちらは
当社の株主
貴族様専用
となって
おりまして
……
ギュッ
うぇー


一時間後。
MARTINI
あー、それで。
名前と年齢と
渡航の目的は？
名前は
リベルタ・
ドレッドホーク。
年齢は
10才と少し
マルティニ社
からの
ハンティングの
依頼を受けて


そうそう
ドレッドホークって、
あの伝説の男……
ドクター・
ドレッドホークか？
てことは君が
娘の？
二年前の
戦争で
ダレル社と
戦った？
うん、
8歳の
時だね
フィスト・
バンチ強盗団を
一掃したのも？
それは
6歳の時


わお！
すげーな！
ついこないだに
君のパパを
見たよ
ああ、
そういえば
亡くなったん
だったな……
すまない
いいのいいの。
ガンマンが
死ぬのは
当たり前だもの
さ、はやく
手続きしてよ。
お腹ペコペコ！
カチャン

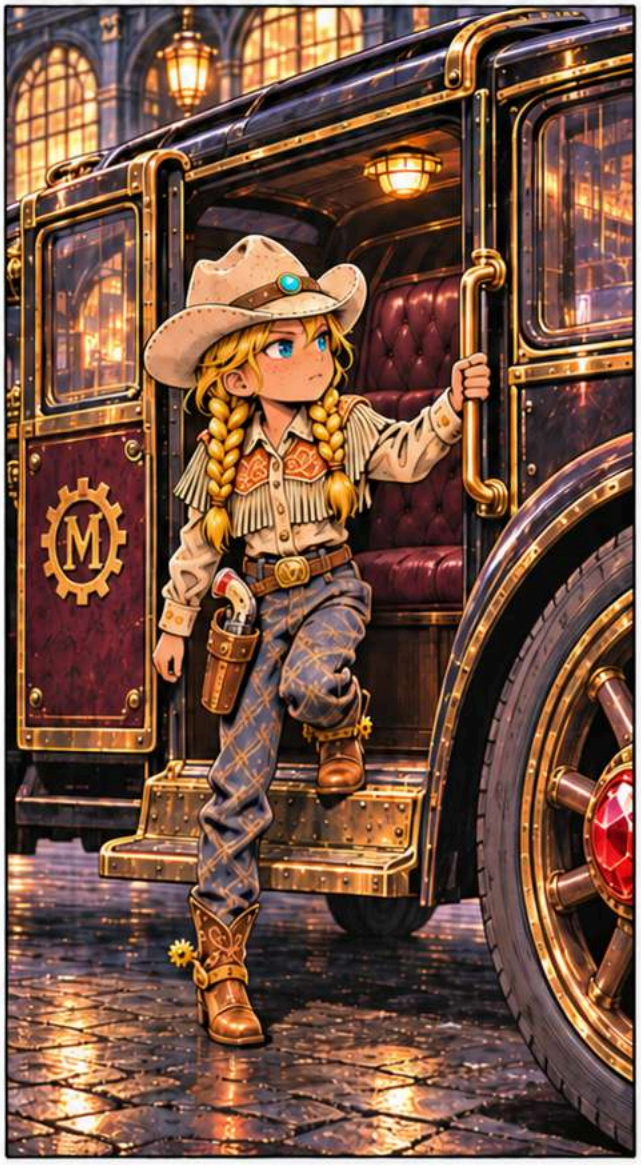

古めかしい姿のオートタクシー。
行き先を告げれば、あとは勝手に運んでくれる。
承知しました
サンドクリークの市街地まで


そういえばパパも、前にこの星に来てたんだったね
まったく、私一人に仕事させてさ
だからおっ死んじゃうんだよ……バカ
落チ込むナって。自由な奴ダったカらな、あいツは


悪いガ、
そイつは
秘密ダ
そういえば、
ここで
何してたの？
銃の支援ＡＩ、
グリップ。
父から受け継いだ、
唯一の形見だ。
機密指定
サれていルから
言えナい
えええー、
なによそれ。
感じわるーい


サンドクリークへようこそ
サンドクリーク。






リベルタは
敢えて裏道を
進んだ


へー、
そいつを
やっつければ
賞金出るん
でしょ？
やったじゃん


私が
そこらの奴に
やられる訳
ないじゃん
盗品庫に
イクなら、
気をツけろヨ

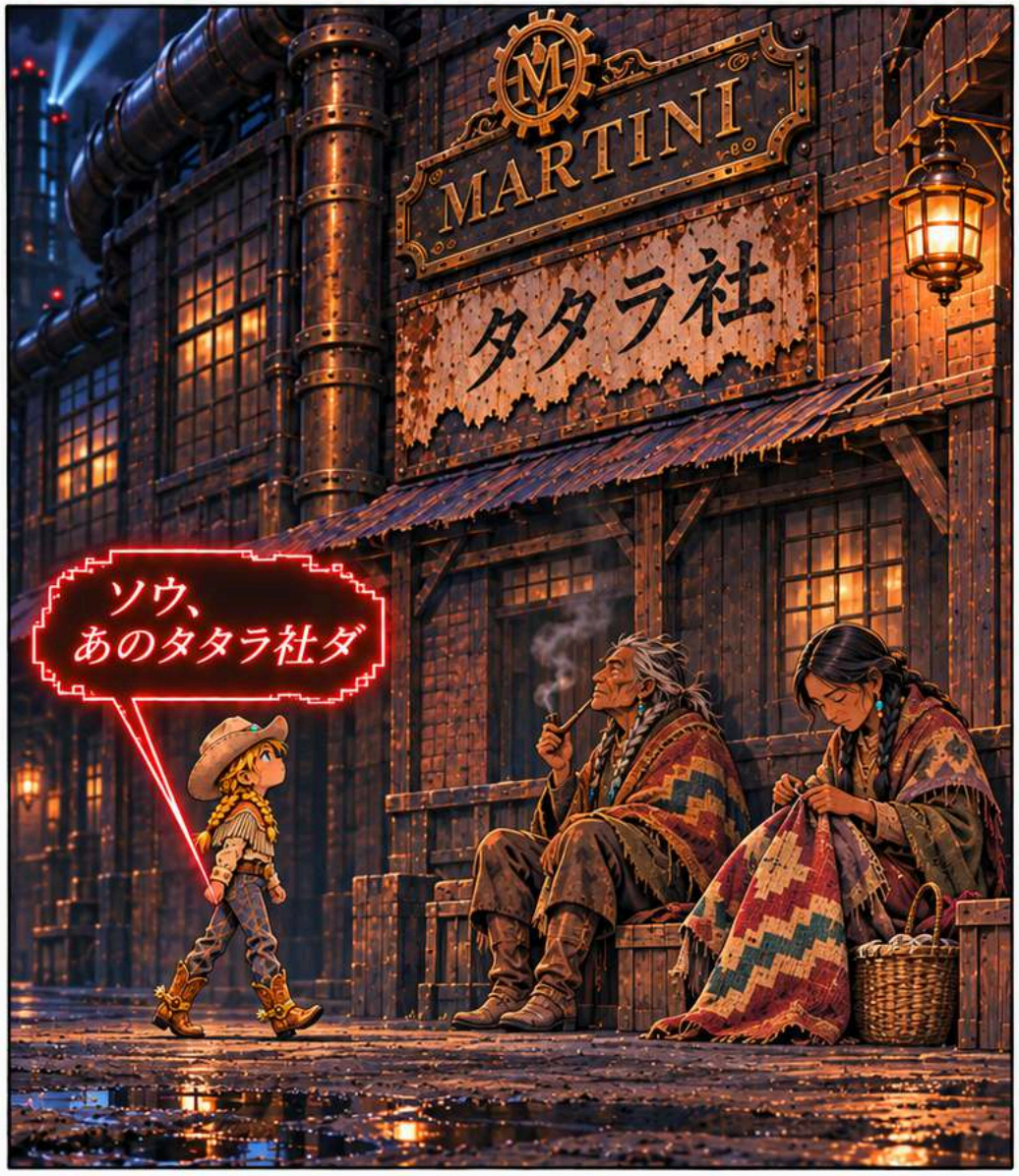

違う。
マルティニ社の
兵士がうロついて
ルんだ。
不法居住者を
手当たり次第ニ
撃ってル


そレに、
最近ハお尋ね者ノ
殺人鬼も居るっテ
情報もあるゾ


路地の先は、
退廃と貧困に
沈んでいた。
この区画に
向けて開く窓は、
一つもない。


この星は
マルティニが
買収するマでは、
タタラ社の
持チ物だったンダ


タタ……
タタラ……？
社居留地……？
旧タタラ社
居留地


MARTINI
タタラ社
ソウ、
あのタタラ社ダ


タタラ社って、
あのサイボーグ
ニンジャ
作ってる？


へえー
この辺りの先住民トか、不法居住者とか言ワれてる連中は……
見捨てラれた元タタラ社ノ社員なんダよ
ガップ ガップ ガップ
コチラハマルティニ社ノセキュリティドロイドデス
不法居住者へノ致死的攻撃ハ法律デ推奨サレテオリマス
リベルタはその光景をさして気にも止めなかった
あまりにもありふれた世界だからだ
あっちにもいるぞ！撃て！撃ち殺せ!!